

## 霧島へのフェリーパッケージ

2021-5-25 池田良穂

旅行社のパッケージにはほとんど参加しません。それは現地での行動の自由が束縛されて、好きな時間に港に出かけて船を見ることができないためです。ただツアーでも飛行機と宿泊だけがセットされたものは、全体の費用が安あがりになるので利用することもあります。それでも98%は個人手配の旅となっています。

団体会員の「フェリーさんふらわあ」の子会社の「さんふらわあトラベル」から、志布志航路船と星野リゾート界霧島をセットにしたツアーの企画をいただいて、ニュースでも流しましたが、自家用車で行ってフェリーのスイートと宿だけがセットされていて、後は完全に自由旅行スタイルなので、思い切って利用してみることにしました。いつもより3週間も早い梅雨入りで、天気には期待できないので、恒例の鹿児島港訪問はやめて、異例の温泉観光だけの旅と心に決めての出発となりました。

予約した時点での天気予報では雨でしたが、大阪南港を出る頃には雨もあがり、青空も見え始めていました。17時55分発の志布志行の船は「さんふらわあさつま」でした。事前に、レストランは弁当式で、船内のアルコール販売も中止との案内がありましたので、冷やしたワインを持参して、部屋のベランダで夕日を眺めながらの弁当ディナーと洒落こみました。

利用したのは土曜発の便で、志布志への到着は9時40分と遅く、天気もよくなったので宮崎沖から都井岬沖、そして志布志湾の4時間余りの航海をゆっくりと楽しむことができました。天気もよくなり下船後に鹿児島港へ行くことも一瞬頭を過りましたが、今回は初めての霧島神宮、初めてのえびの高原、そして初めての星野リゾートと、計画通り家族サービスに徹することになりました。星野リゾートの経営者のインタビュー記事等もよく読む機会があり、そのコンセプトも実際に体験してみたいとの思いもありました。これらについては、別の機会にご披露します。

星野リゾート界霧島の部屋は、大きなガラス張りの窓から桜島が正面に見えました。いつもは鹿児島市内から見ているのですが、今回は北から見る景色で山の形がだいぶ違いました。

翌日は、梅雨に戻ってしまい朝から雨模様。眼下の光景はすべて雲に隠れてしまいました。昼まで温泉を楽しんでから、志布志へと向かいました。途中で名物のウナギ料理を食べて、夕刻志布志に到着する頃、ふたたび青空が戻ってきました。船は「さんふらわあきりしま」でした。17時55分に大阪に向けて出港しました。

都井岬をすぎると次第に揺れだし、深夜には結構揺れていました。翌朝6時過ぎには友が島水道を抜けて大阪湾に入りました。ここでもまた青空が戻り、大阪南港に到着する7時40分まで、大阪湾内での楽しいシップウォッチングを堪能することができました。



高くたつのがワールドトレードセンタービル、岸壁に低く左右に広がるのが ATC(アジアトレードセンター)です。画面左側がフェリーさんふらわあのターミナルになっており、別府航路の「さんふらわああいぼり」が停泊していました。



船上から出港する沖縄航路の RORO 貨物船「琉球エクスプレス 6」と、停泊する「おれんじおおさか」(左)と「フェリー一おおさかⅡ」が見えました。夕日が船を照らしていますが、バックの空はまだ雨雲です。



雲がきれて夕日が輝く中、明石海峡大橋を眺めながら、ベランダで 1000 円弁当のディナーを楽しみました。





フェリー各社の「御船印プロジェクト」が始まったので、さっそく公式「印帳」を購入して、「さんふらわあさつま」の御船印(300円)を張りました。



翌朝 8 時過ぎに都井岬をかわすようにして志布志湾に入りました。



志布志港を出港する井本商運の内航コンテナ船「さくら」と出会いました。



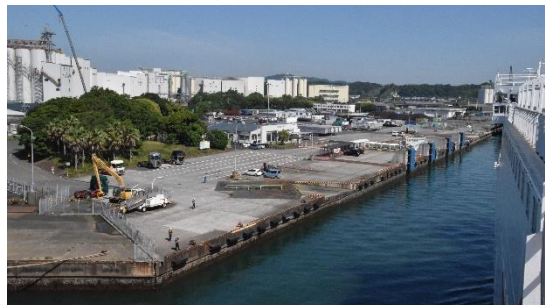
さんふらわあさつまのデッキには、お洒落な椅子が並んでいます。コロナ禍だからこそ、安全なオープンデッキの活用が大事になります。



志布志港のコンテナターミナルにはアジア航路のコンテナ船が着岸作業中でした。



志布志港はばら積み船施設も充実しており、巨大なサイロが並んでいます。



志布志港のフェリーターミナルは、ばら積み船用岸壁の横にあります。



初めての霧島神社です。



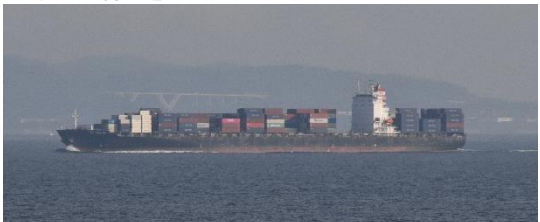
星野リゾート界霧島の部屋からのダイナミックな景色です。正面にうっすらと桜島が見えます。



帰りの船は「さんふらわあきりしま」でした。



志布志港の沖で待つコンテナ船 Boya です。6 隻ほどの船が沖待ちをしていました。



最終日の朝、大阪湾の中で旧パナマックス型の大型コンテナ船と反航しました。



続いて、船幅が 41m の新パナマックスのコンテナ船と反航しました。



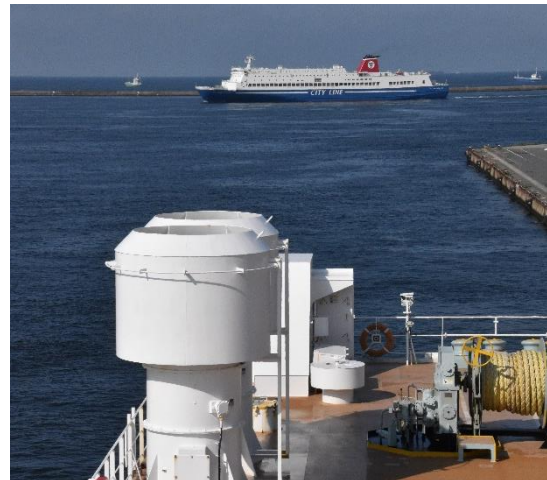
大阪港の外に停泊していた JFE の鋼材運搬バージです。プッシャーの接続具合がよくわかります。



コンテナ船「JJ 名古屋」が出港していきました。



大阪南港のさんふらわあフェリーターミナルです。



着岸した「さんふらわあきりしま」の後ろを、「フェリーきたきゅうしゅうⅡ」が入ってきました。